

[1131/4G-030-001]

Ver.17

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4G.膵・消化管ホルモン&gt;&gt;4G030 グルカゴン(膵グルカゴン) [RIA]

## グルカゴン(膵グルカゴン)

[RIA]

pancreatic glucagon

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

1131

001

グルカゴン[RIA]

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト

注 80 外

冷

セカ2.



血液

中検外2

\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_-95002

\*\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*

M

3ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[1131/4G-030-001]

Ver.17

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4G.膵・消化管ホルモン&gt;&gt;4G030 グルカゴン(膵グルカゴン) [RIA]

## グルカゴン(膵グルカゴン)

[RIA]

pancreatic glucagon

連絡先 3764

01	M	EDTA-2Na + アプロチニン(薄緑)	
採取材料	血液	採取量	3 mL
		冷却遠心	
測定材料	血漿	測定必要量	



## 採取容器について

正確な検査の実施には, [M採血管]に含まれるアプロチニン(安定剤)が必要です。

## 検体採取について

溶血は低値の影響があります。また、乳びは高値の影響があります。

## 採取後検体の取扱い

## 検体搬送について

氷冷搬送

## 採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	受託終了	保存条件1						

## 受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
不可		不可		不可
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

## 検査に要する時間(生理検査)

## 再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間 (検体量ある場合のみ) &lt;br /&gt;

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

[1131/4G-030-001]

Ver.17

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4G.膵・消化管ホルモン&gt;&gt;4G030 グルカゴン(膵グルカゴン) [RIA]

## グルカゴン(膵グルカゴン)

[RIA]

pancreatic glucagon

連絡先 3764

## 検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器	&nbsp;
検査所要日数	検査中止
検査部門・委託先	外部委託 (LSIメディエンス)
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	血液
検査方法	ラジオイムノアッセイ (RIA) 二抗体法

## 生物学的基準範囲

	男性	女性	単位
00 グルカゴン(膵グルカゴン)	70 - 174	70 - 174	pg/mL

## 基準値情報

## 緊急異常値

## 電話連絡対応

## 臨床的意義

&nbsp;&nbsp;&nbsp;膵グルカゴンは、アミノ酸29個より成るペプチドホルモンで、膵臓のランゲルハンス島にあるα細胞で合成・分泌されている。主たる役割は血糖値上昇にあり、肝糖原（グリコーゲン）の分解、糖新生作用を介し血中にブドウ糖の放出を促す作用をもつ。また脂肪組織における中性脂肪の分解や、インスリン分泌促進作用も有している。

&nbsp;&nbsp;&nbsp;膵グルカゴンは糖代謝異常を伴うさまざまな疾患で異常値を示すが、臨床的に測定が重視されるのは、糖尿病、グルカゴノーマ（グルカゴン産生腫瘍）とグルカゴン欠損症である。とくに1,000 pg/mL以上ではグルカゴノーマの可能性が高い。

&nbsp;&nbsp;&nbsp;測定は空腹時採血による基礎値のほか、経口糖負荷試験やインスリン負荷試験において、血糖値と同時に測定される。すなわち、健常者では経口糖負荷試験でグルカゴンは抑制されるが、糖尿病では増加する例が多い。インスリン負荷で健常人のグルカゴンは上昇するが、1型糖尿病では低反応とされる。

[1131/4G-030-001]

Ver.17

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4G.膵・消化管ホルモン&gt;&gt;4G030 グルカゴン(膵グルカゴン) [RIA]

## グルカゴン(膵グルカゴン)

[RIA]

pancreatic glucagon

連絡先 3764

## 異常値を示す病態・疾患

高値を示す病態<br />グルカゴン産生腫瘍, 糖尿病, 肝硬変, 急性膵炎, 腎不全, 心筋梗塞, 飢餓状態, 感染, 外傷, 火傷など<br />低値を示す病態<br />慢性膵炎非代償期での膵性糖尿病, 下垂体機能低下症, グルカゴン欠損症など

## 参考文献

LSIメディエンス 検査要項

## JLAC10

分析物	4G030	グルカゴン(膵グルカゴン)
識別	0000	
材料	022	血漿
測定法	001	ラジオイムノアッセイ (RIA)(二抗体法)

## 変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2010/01/29	2010/01/30～	検査受託終了
3	2014/03/04	2014/03/05～	検査受託再開, 基準値変更
4	2014/03/28	2014/04/01～	委託先会社名変更(三菱化学メディエンス⇒LSIメディエンス)
5	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(LSIM⇒BML), 報告日数変更
6	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
7	2017/03/21	2017/02/23～	検体ラベル表記変更[O]⇒[ ]
8	2018/01/30	2018/01/30～	採血管に関する注意事項を追記
9	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
10	2019/04/30	2019/04/01～	外注業者変更([BML]⇒[LSIM])

[1131/4G-030-001]

Ver.17

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4G.膵・消化管ホルモン&gt;&gt;4G030 グルカゴン(膵グルカゴン) [RIA]

## グルカゴン(膵グルカゴン)

[RIA]

pancreatic glucagon

連絡先 3764

11	2019/06/07	2019/06/10～	一時受託中止, 検査項目名称変更, 臨床的意義修正, 関連検査項目追加
12	2019/09/27	2019/10/01～	受託中止
13	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
14	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
15	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
16	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
17	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定